

The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

教育実習生に聞きました。



教育実習が5月30日から始まり、2週間または3週間、7名の教育実習生が本校に来てくれました。そこで、全員の方に生徒の皆さんへ向けてメッセージを頂きました。内容は、高校時代のクラスや部活での思い出、成功・失敗例、後輩へのメッセージ、大学生活のアドバイス、など自由に書いてもらいました。教師を目指す皆さんですので、皆さんにとって役に立つことが色々と書いてありますから、ゆっくりと読んでみてください。

☆ ○○ さん (保健体育) ボート部

私は高校時代、ボート部に所属していました。入部した当初は、身体も細く運動が大嫌いだった私は毎日憂鬱な気持ちで部活動に参加していました。そんな毎日を送っていたある日、練習の中で部内最下位の記録を出しました。今まで何かに悔しさというものを感じてこなかった私は、人生で初めて挫折というものを経験しました。その経験から何事も楽な道を選んで自分を捨て、逃げずに挑戦する気持ちを強く持つようにしました。その結果、高校三年生になる頃には、キャプテンに任命されチーム東高としてインターハイにも出場することができ、今では体育大学に進み現役でボート競技を続けています。

そんな私が、皆さんに伝えたいことは、「挑戦」し続けることです。それは部活動に限らず、勉強や日常の些細なこと、何でも構いません。とにかく挑戦し続けてみてください。人は、どこか壁にぶち当たると必ず手の届く範囲で正解を見つけようとしてしまいます。誰も失敗したくないと思うことはごく普通なことですし、失敗を恐れることは恥ずかしいことではありません。ですが、挑戦し続ける限り、それが失敗になることは絶対にありません。だから一歩踏み出して挑戦し続けてください。その過程の中で学んだことは、これからの人生で必ず生きてくると思います。

高校卒業後はそれぞれの道に進むと思いますが、一歩踏み出す勇気で自分の可能性をたくさん広げてあげてください！皆さんのこれからのご活躍を期待しています。

☆○○ (国語) 書道部

私は大学での研究についてと、これから皆さんに意識してほしいことを伝えたいと思います。私が所属する所は、日本語・英語・中国語・フランス語・ドイツ語・芸術学・哲学・文化交流論研究室に分かれています。「言語文化学科」と聞くと、国語や英語の授業で学んでいるようなことをやるんでしょ？と思うかもしれませんが、それだけではありません(それを学ぶこともできます)。

例えば私が所属する文化交流論ゼミでは、テレビや雑誌といったメディア、SNS、映画に関する研究をしている人がいます。去年の卒業生には『鬼滅の刃』や「k-pop アイドル」をジェンダー的視点から研究している人もいました。英米文学の研究室でも、日米文化比較の観点から「制服ディズニー」に関して論じている先輩がいます。

これを聞くと、大学での研究に関してイメージが変わりませんか？

今の皆さんは部活や勉強に精一杯でこれからの進路に関して考えている余裕もないかもしれません。私もそうで、書道部を引退するまで、なんとなく都会に出たいから県外の大学を志望していました。紆余曲折あって今の大学に合格しましたが、やりたい研究を見つけるまで長い時間がかかりました。最初から決まっている人はそれに向けて努力すればいいと思います。決まっていなくても、好きなことを突き詰めてそれが研究になる人がいるので、自分の「好き!」「面白い!」と思う気持ちを大切にしてください。これからの日々を過ごしてください。

最後になりますが、実習生として東高に来て、先生方の優しさや関わってくれた生徒の皆さんの温かい応援がとても嬉しかったです。私もこれから進路実現に向けて頑張るので一緒に頑張りましょう!!

☆○○ (保健体育) バasketボール部

高校時代は、勉強と部活動の両立が難しかったことが思い出されます。勉強は嫌いで面白くも楽しくもないものでした。テストでも良い点は取れない、授業にもついていけないという状況でしたが、サポートして下さった先生方には感謝しかありません。部活動は様々な経験ができて良かったと思います。勝った、負けたも重要ですが、チーム全員で一つの目標に向かっていくプロセスが大切であると改めて感じます。三年生の時には、キャプテンとして、チームに関わったことが自分自身の成長に繋がる良い経験であったと思います。その他にも、多くの思い出がありますが、「卒業できて良かった」この一言に尽きます。

このような経験から自分が伝えたいメッセージは「好きなことをとことん追求しよう」です。自分自身バasketボールが大好きです。多くの分岐点でバasketボールがあり、優先してきました。その中で、多くの課題もありました。もちろんこれからもあると思います。その際に、必要な力として、人間力や社会力などが必要であると思います。そして、これらの力が大きければ可能性もより広がると思います。今現在、好きなこと、熱中しているものがある人は、自分自身が納得行くまで追求してみると何が自分に足りないのか見えてくると思います。ない人は、様々なことにチャレンジしてみてください。将来のために有意義な高校生活を送ってください!

☆○○ (養護) バasketボール部

実習に来て最初に思ったことは、みんな優しいということです。実習1日目はとても緊張していましたが、出会ったときに挨拶をしてくれたり、話しかけてくれたりして、良い雰囲気の学校だなと改めて感じました。

私は高校時代、Basketボール部は、インターハイ出場を目標にしていたため、ほとんど毎日、朝早くから夜遅くまで練習をしていました。部活動では、辛いことも多く、やめたいと思う時期もありました。しかし、仲間とともに支え合い乗り越えた経験は今でも役に立っており、大きな成長につながったと感じています。皆さんも高校3年間の中で、何か一つでも目標を決め、あきらめずに努力し続けてください。その経験は、将来必ず役に立つと思います！

大学では、自分の興味のあることについて深く学ぶことができます。そして、自由な時間が増えるので、ボランティアやサークルなど色々なことを経験することができます。自分の興味があることを見つけるためにも高校生の時から色々なことに挑戦し、自分の進路選択につなげていくと良いと思います。

勉強や部活などで大変なこともたくさんあると思いますが、高校時代に頑張ったことは将来必ず役に立つと思います。松江東高校は、勉強、部活、学校行事がとても充実しているので、自分の興味のあることは、積極的に挑戦し、有意義な高校生活を送ってください！

☆○○ (理科 (化学)) バレー部

今、皆さんは部活や勉強に忙しい毎日を送っているのではないかと思います。私も高校生だった当時、ETCや中間・期末試験や模試などの勉強だけではなく、部活でもとても忙しく、大変だったことを覚えています。体育祭や球技大会など楽しかったことはありましたが、部活でいいプレーができなかったり、テストでいい点を取れなかったりするなど、辛いことも多かったです。しかし、そんな中でも私が毎日学校に通うことができたのは、友達が存在が大きかったと今では感じています。辛いときや楽しいときだけではなく、日常の何気ない会話も、当時の自分を支えてくれたのではないかなと思っています。

そこで、私が皆さんに伝えたいことは、「友達との繋がりを大切にしてほしい」ということです。今後、辛いことや逃げたくなる時があった時、友達は心の支えになってくれます。1人では頑張れないことも友達と一緒にだったからこそ、頑張れることもたくさんあります。ぜひ皆さんには、そういう友達を大事にしてほしいと思います。

さらに私は、高校生だった当時、好きな科目がありました。それは化学でした。テストの点が圧倒的に良かったわけではないけれど、化学の勉強をするのは、他の科目に比べて楽しかったです。そこで私は大学で化学についてより深く学びたいと考え、化学科に入学し、今では大学院への入試のため、勉強に取り組んでいます。

ここで、私が皆さんに伝えたいことは、「自分が楽しいと感じるものを大切にしてほしい」ということです。勉強でも部活でも趣味でもどんなに些細なことでもいいので、自分が楽しいと感じる何かを見つけて、大切にしていってほしいと思います。

最後に2週間という短い期間でしたが、松江東高校に教育実習に来ることができて、とても楽しくとても充実した毎日でした。本当にありがとうございました。皆さんのこれからのご活躍を応援しています。

☆○○ (地理歴史 (地理)) 東京都出身

皆さんに伝えたいことは、自分が本当に好きなもの、自分がやりがいをもてるもの、自分が熱中できるものなど、みなさん自身が没頭して取り組めるものを高校生活を送るなかで見つけてほしいということです。高校生活は、文系理系を問わず幅広い知識にふれることができる絶好の機会です。様々な科目を総合的に学ぶことで、自分にとって何が一番興味を持てるのか、どのようなことが面白いと感じるかを考えてほしいと思います。

また、部活動や探究活動など、勉強以外にみなさんが取り組んでいること(学校で行うことに限らず、自分の好きな趣味を深めることなどでもいいのですが)から得られるものもたくさんあります。ぜひ、勉強以外のことも前向きに取り組んで、みなさん自身しか得られないものを得てほしいと思います。

みなさんが高校を卒業したその進路先では、自分はどんな人間であり、自分自身が何をしたいのか、どのようなことに興味があるかが問われていくこととなります。それは、高校までで学んだことや経験したこと、そして卒業後のみなさん自身の行動によって変わっていくものです。しかしみなさん自身が、「自分は何に興味があって、何をしたいのか」を考えることを始めることから、みなさん自身にとって望ましい進路選択ができると思います。

みなさん自身が卒業後、どうありたいか、どのように過ごしたいかをぼんやりと考えつつ、日々の勉強などに取り組み、貴重な高校生活を楽しく過ごしてください。

☆○○ (理科 (生物)) 弓道部

突然ですが、私は大きな挫折をしたことがありませんでした。失敗するのがすごく怖く、いつも目標は低め、ほぼ確実に達成できることを選択してきたため、なんだかんだうまくいってしまいました。そのような私が大学で経験したことを少しお伝えできればいいなと思います。

私は大学で馬術部に入り、色々割愛しますがそこで挫折をしました。大会会場で担当していた馬の緊張を取り除けず爆走させ、落馬失権をし、馬にもトラウマを植え付けました。馬はとても賢いため一度トラウマを作ってしまうと、治すには多くの時間と努力が必要となります。人も馬も頑張ってきたのに馬に辛い思いをさせ、後輩にも迷惑をかけることになり、自分が担当として責任を持って調教する自信もなくなりました。自分が行っても意味ないだろうし、責められるだろうし、日常練習にも行きたくなかったです。でも実際はみんな気にかけてくださり、部活の仲間をはじめとする様々な方に協力していただいた結果、馬が会場に行っても比較的落ち着いていられるようになりました。

長々と結局何が伝えたいかというと、失敗を恐れすぎずにいろいろ挑戦してみてくださいということです。少なからず失敗が怖い人はいると思います。慎重に行動できることは素晴らしいですが、これから先やりたいことがたくさん見つかると思います。私のように後代に影響する失敗をしても、頑張りを知ってくれている多くの方が協力してくれました。難しいかもと思う挑戦も、頑張っていれば皆応援してくれます。やりたいことが見つかったら、ぜひどんどん挑戦してみてください。皆様のこれからの活躍を応援しています！

